

歯科材料 01 歯科用金属
歯科鑄造用銀合金第2種 70778000*
管理医療機器*

アサヒキャストシルバーⅡ

【禁忌・禁止】

本合金又は類似成分の合金に対して、発疹、皮膚炎などの過敏症の既往歴のある患者には使用しないこと。

該当規格; JIS T 6108「歯科鑄造用銀合金」(第2種)

【形状・構造等】

*形状; 扁平した粒状

成分・分量;

成分	分量 (%)
銀	72
亜鉛	13
すず	9
インジウム	6

【性能、使用目的、効能又は効果】

銀 72%以上、インジウム 6%以上を含有する歯科鑄造用合金

(1) 物理的性質;

液相点 (°C)	663
密度 * (g/cm ³)	9.6
引張強さ (MPa)	390
伸び (%)	6
ビッカース硬度	140

(2) 使用目的、用途;

* 歯科補綴物の鑄造に使用する。

・インレー、クラウン、ブリッジ、メタルコア

【操作方法又は使用方法等】

(1) ワックスアップ・埋没・焼却;

① ワックスアップは通法により行ってください。

② スプルー線は、やや太め (φ2.0mm) のものをご使用ください。(細いスプルーの使用は、湯まわり不足又は鑄巣の原因となります。)

③ 埋没材はクリストバライト系埋没材を使用してください。

④ 焼却は、ご使用の埋没材の取扱説明書等に従ってください。

⑤ ワックスを焼却した後、炉内で 400°C まで冷却するか、あるいは炉外に取り出して室温で 3 分間放冷してから鑄造を行ってください。

* (2) 熔解・鑄造;

・真空反転式加圧鑄造機を使用の場合は、カーボンルツボを用い、熔解条件は下表を目安にしてください。

スタート温度	熔解温度	熔解時間	鑄造タイミング	冷却時間	鑄造圧力
650°C	750 °C	7 分	0.3 秒	5 分	0.3 ~0.4 MPa

・熔解は、フラックスを投入しながら、還元炎の尖鋭な炎で出来るだけ短時間で、回転、鏡面を呈したら鑄造してください。
・熔解の際には、急激な加熱方法を避け、オーバーヒートには十分注意してください。

(3) 鑄造後の処理;

鑄造後は室温まで放冷してください。

(4) 研磨;

通法により研磨してください。

【使用方法に関連する使用上の注意】

(1) 本合金を再熔解する場合は、サンドブラスター等で、埋没材・酸化膜を完全に除去し新しい合金を等量以上加えて、熔解すること。

* (2) 歯科用フラックスを使用する時には、防塵マスク等を着用し、目鼻喉等の粘膜及び気管を保護すること。

(3) 本合金の鑄造設備付近には、局所排気装置、換気扇など設備を整え、密閉した部屋での作業を避け、鑄造により発生する粉塵及び蒸気を吸入しないこと。

(4) 本合金の研磨作業などの際には、粉塵による人体への影響を避けるため、局所吸塵装置、公的機関が許可した防塵マスクなどを使用し、粉塵を吸入しないこと。

(5) 他の合金との混用は行わないこと。

【使用上の注意】

(1) 使用注意;

① 本合金は、添付文書に記載の用途以外には使用しないこと。

② 本合金は、歯科医師又は歯科技工士以外には使用しないこと。

(2) 重要な基本的注意;

本合金の使用により発疹、皮膚炎などの過敏症状が現れた患者には、使用を中止し、医師の診断を受けさせること。

(3) 不具合・有害事象;

有害事象として、掌蹠膿疱症、扁平苔癬、皮膚炎などの歯科金属疹(遅発性金属アレルギー疾患)を発症することがあります。

【包装】 内容量: 100g / 袋 *

付属品: シルバーフラックス

*【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称及び住所等】

製造販売元 アサヒブリテック株式会社

住 所 兵庫県神戸市西区室谷 1-6-3

製 造 元 アサヒブリテック株式会社テクノセンター

住 所 兵庫県神戸市西区室谷 1-6-3